

# 天才への階段

<b>問題</b>	<b>普通の人だった彼はどうやって天才になったのか</b>
1	天才は生まれたときから天才だったわけではない 置かれた環境の違いこそあれ、 能力という点では誰もがスタートラインは一緒 天才はいつから天才になったのか、その理由がある
<b>実態</b>	<b>10人中9人は突き抜ける手前で足踏みをしている</b>
2	人に負けない能力を持つ人は至るところにいる せっかくの才能をカタチにできていない人が多い 自分もその一人である
<b>意識</b>	<b>まず自分自身の決定的変化を強く期待する</b>
3	求めないところに決定的変化は起こらない 天才になると決め、新たな人生のスタートを切る

<b>破壊</b>	<b>無から有は作れない</b>
4	天才は多くない、天才になれる可能性は高くはない 自己欺瞞の破壊、自分は瞬間的に天才にはなれない 天才たちが潜在力をブレイクさせたプロセスがある
<b>日課</b>	<b>知識・経験・感覚の量を積む</b>
5	持っていた才能ではなく、これから作る才能で天才になる 創造というのは記憶が足がかりとなって生まれる 膨大な量の情報を摂取する 毎日意識的に動き、心の動き・頭の動きを記録する ノートを読み直して記憶・記録を有効に蓄積する

<b>革新</b>	<b>自らを律するために自ら規則を課す</b>
6	天才は、課題の多さや難しさという点で 私たちよりも圧倒的に多くのものを抱えている
<b>苦悩</b>	<b>守るべき規則と守れない自分の中で摩擦が起きる</b>
7	挫折の繰り返し、自分との闘い、人生の正念場 それでも続けられる条件は意欲と利益 自らの内部にエネルギーを生む回路を探す
<b>燃焼</b>	<b>このままではいけないという焦燥感をエネルギーに変換</b>
8	ダメな自分を毛嫌いし、反省文を日記に書く 成功体験を重ねて我慢ができるようになる パワーは経験の積み重ねから作ることができる

<b>確信</b>	<b>人として芯の強さが身についてくる</b>
9	生命の高揚感・燃焼感を意識する 条件が揃っていなくても、待たずに動いて結果を出す 力を蓄えていけば、爆発する時が訪れる 自分の才能や実力を肯定する瞬間がやってくる

<b>材料</b>	<b>創造の可能性は蓄積してきた量に比例する</b>
10	蓄積された量が自信を作りだし、発する空気が変わる それら全てを活かした未来をイメージする エネルギーを毎日使い切る

<b>熟成</b>	<b>手本に対する視点が受け手から送り手に変わる</b>
11	自分の創るべきものが見えてくる 自分に足りなかったものが見えてくる 蓄えた力の活かし方が見えてくる

<b>発揮</b>	<b>その記憶と記録を編集する能力が可能性を活かす</b>
12	蓄積された情報を自由自在に操る 自分なりのアレンジを加える作業を積み重ねていくうちに 独創性にあふれるものができあがってくる

<b>開花</b>	<b>量的な蓄積が質的な変化を起こす</b>
13	熟成された「自分の意見」が蓄えられてくる 多くの作品の中に「抜群」が現れるが、こだわらない 自分の才能に目覚める 自分の才能をカシッとわしづかみにした感覚が起きる

<b>訓練</b>	<b>高度な技術が自然な動きとして身につく</b>
14	蓄積した量が潜在能力を動かし始める 自分ではないみたい体に体と頭が勝手に動く

<b>覚醒</b>	<b>自分のプレースタイルが定まってくる</b>
15	常識を踏まえ、常識を凌駕する「非常識の世界」を覗く 技術を超えた自分だけのスタイルをものにする 「そうだ、これがやりたかったんだ！」と喜びを感じる 多くの人の中で自分のポジショニングが定まってくる

<b>構築</b>	<b>完成図が明確に描けてくる</b>
16	完成図を視覚的に描き、詳細かつ鮮明に砥ぎ上げる いくつもの思考作業が並列処理で動いていく

<b>迷走</b>	<b>孤立して自信か過信かの不安に陥る</b>
17	天才となる瞬間が、必ずしも世の中から評価される時期と 一致しているとは限らない 「不安」が長所伸長だけでなく弱点強化のパワーを生む 自分の能力を過大評価せず常に努力をしなくなる 緊張感の連続こそが自分を後戻りさせない ここでの自分への勝利で「負けない勝負師」になる

<b>集中</b>	<b>自分を信じ、すべてのものを目的のために機能させる</b>
18	天才は自分の行動の意義に自信を持っている 競争に勝つことへの純粋なこだわりを持つ 全ての力(本気・調子・上達)を準備し、毎回使い切る

<b>渾身</b>	<b>力まずに全エネルギーを効率よく一点に注ぐ</b>
20	最も重要な「一点」を見定め、常に意識する ピンポイントにエネルギーを集中投下する 神がかりとしか思えない偉業を達成する

<b>決戦</b>	<b>勝ち方をつきとめて、戦略的に勝つ</b>
19	勝つストーリーの選択肢をどんどん広げる それぞれの手法に潜む「神髄」・「奥義」を見抜く 実現力を背景に効果の高い戦略を選択して実行する 計算通りの結果を出す 単なるマニアから天才経営者への決定的な変化を遂げる 技術の高さやオリジナリティへのこだわりよりも実を取る

<b>結果</b>	<b>自分が持っている能力を誰もが認めるカタチにした</b>
21	天才の能力は経験値なので、 行動を続ける限り天才の創造性は衰えることがない 新たなインプットをすぐに自分のスタイルに応用する

<b>影響</b>	<b>一人の人間が達しうる限界を手本になって見せる</b>
22	自分の才能という絶対的に頼りになる存在が常にある 天才は人間の常識を超えて無限に成長する 成長を重ねて全人格的な完成度が高まる 天才の存在が、後に続く天才の誕生を誘発する